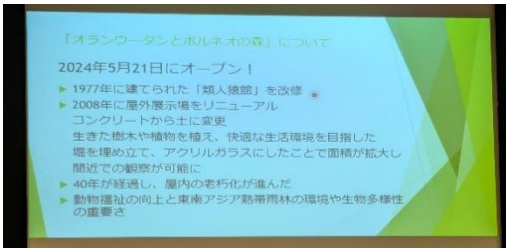


生活科教育 理論研修会 終了報告

テーマ	円山動物園での新たな発見を授業に生かす ～「オランウータンとボルネオの森」を通して～	
日時	令和6年8月20日(火)	
会場	札幌市円山動物園	
講師	大澤 千秋 氏 (札幌市円山動物園 職員、動物解説専門員)	
参加者	33名	
研修会 の 様子		①部長挨拶 研修に先立ち、部長から講師の紹介を行った。 生活科部会としての円山動物園での研修会は、約5年ぶりということもあり、動物園の活用方法についても発信していただくようお願いしていた。
		②講演1 円山動物園で実施している教育プログラムについての解説をしていただいた。低学年における社会見学での活用はもちろん、SDGsに合わせた環境プログラム等、総合的な学習でも活用できる。
		③講演2 教科書の題材に合わせて、動物園を活用できたり、ここ数年でオンライン教育にも力を入れており、オンラインで学校と動物園をつないでの講座もあることがわかった。様々な学びのプログラムを知り、参加者からも実践してみたいとの声が上がっていた。
		④講演3 新設された「オランウータンとボルネオの森」の紹介をしていただいた。オランウータンの生態に合わせたつくりとなっており、現地に合わせて定期的にスコールを降らせている。動画や写真を用いてわかりやすく解説していただいた。
		⑤園内見学 講座の後は、円山動物園内を自由に見学した。特に、講座の中でも紹介されていた「オランウータンとボルネオの森」では、生息地の植物を実際に目で見たり、動物に準えた置物の配置場所等、細かいところまで建物の工夫を見学する様子が見られた。